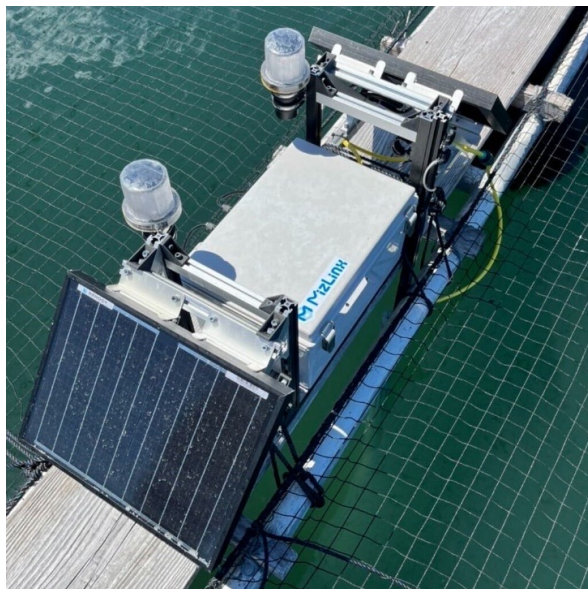

水産業の生産性向上を実現するための 海洋モニタリングシステムの開発

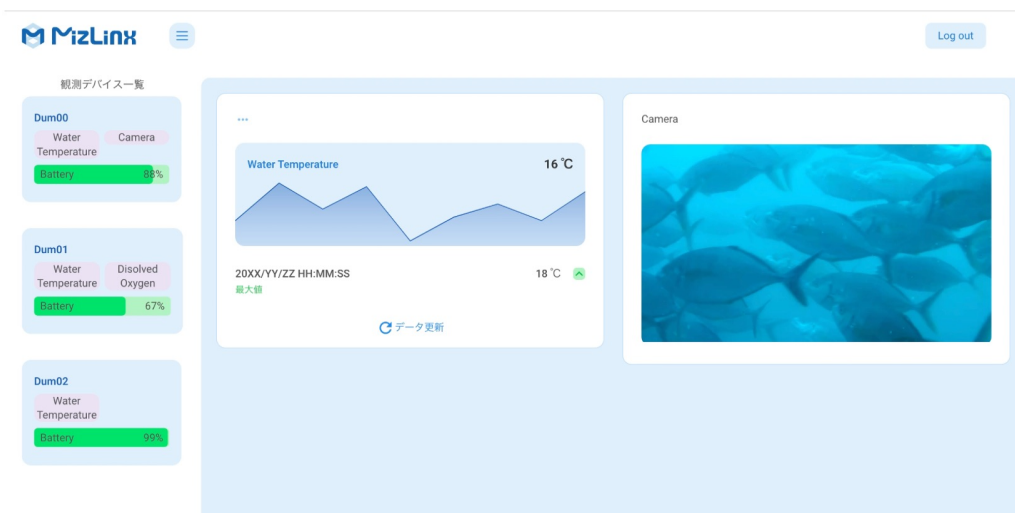


海洋モニタリングシステム「MizLinx Monitor」を開発



取得可能データ

- 映像・画像
- 水温
- 溶存酸素
- 塩分
- pH
- 濁度
- クロロフィル
- 流速・流向



実施内容

いわき周辺の海域における ウニ減少の原因究明のためのモニタリング

いわき周辺海域の課題

ウニの減少が課題。

いわきではウニ漁がさかんであるため、
地元漁業者は打撃を受けている。

原因については、水産海洋研究センターの
見解では魚による食害と考えられているが、
まだ原因特定されているわけではない。



目的

いわき市小名浜港においてウニが捕食されるシーンを撮影する

ご協力：福島県水産海洋研究センター、漁業者様

方法

水中カメラモジュールを製造し、3日間昼夜通して

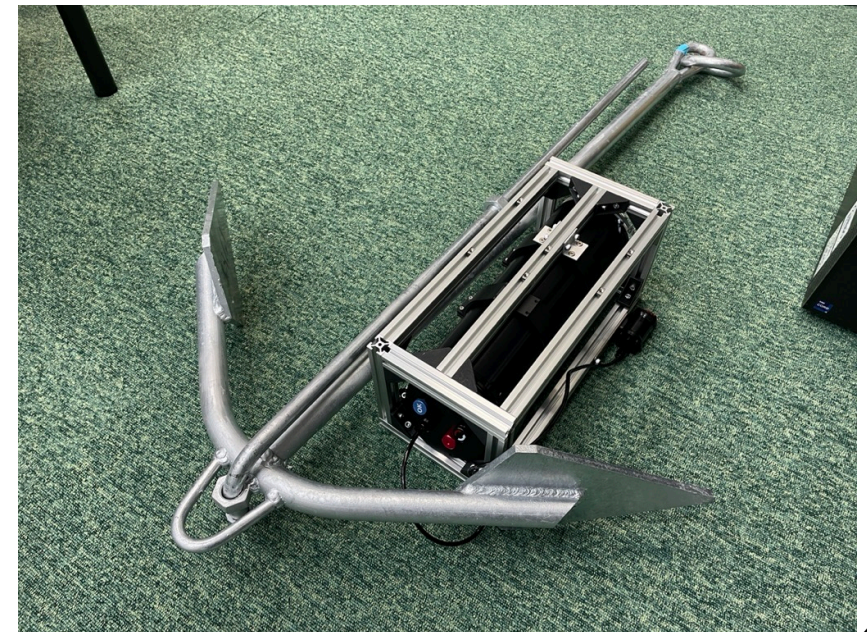
3分に1回写真を撮影し、実証後にタイムラプス

形式のデータとすることで捕食シーンを捉える

スケジュール

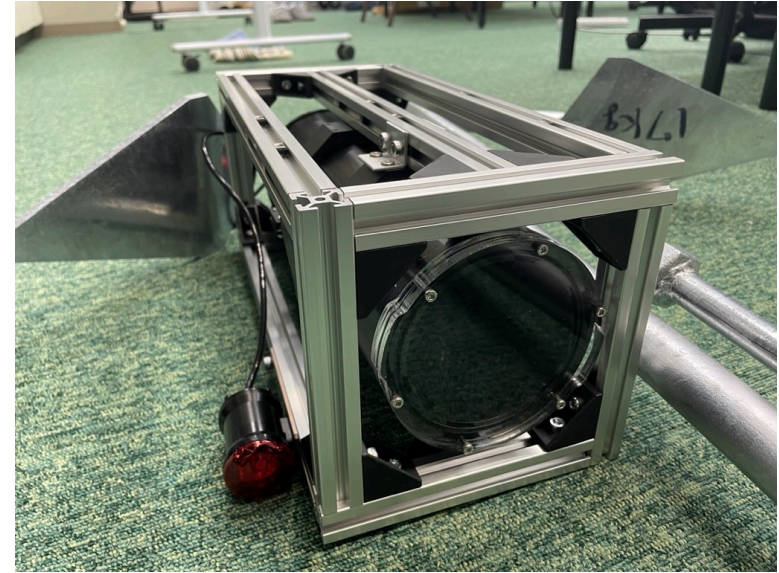
第1回設置：2023年12月26日～28日

第2回設置：2024年春予定

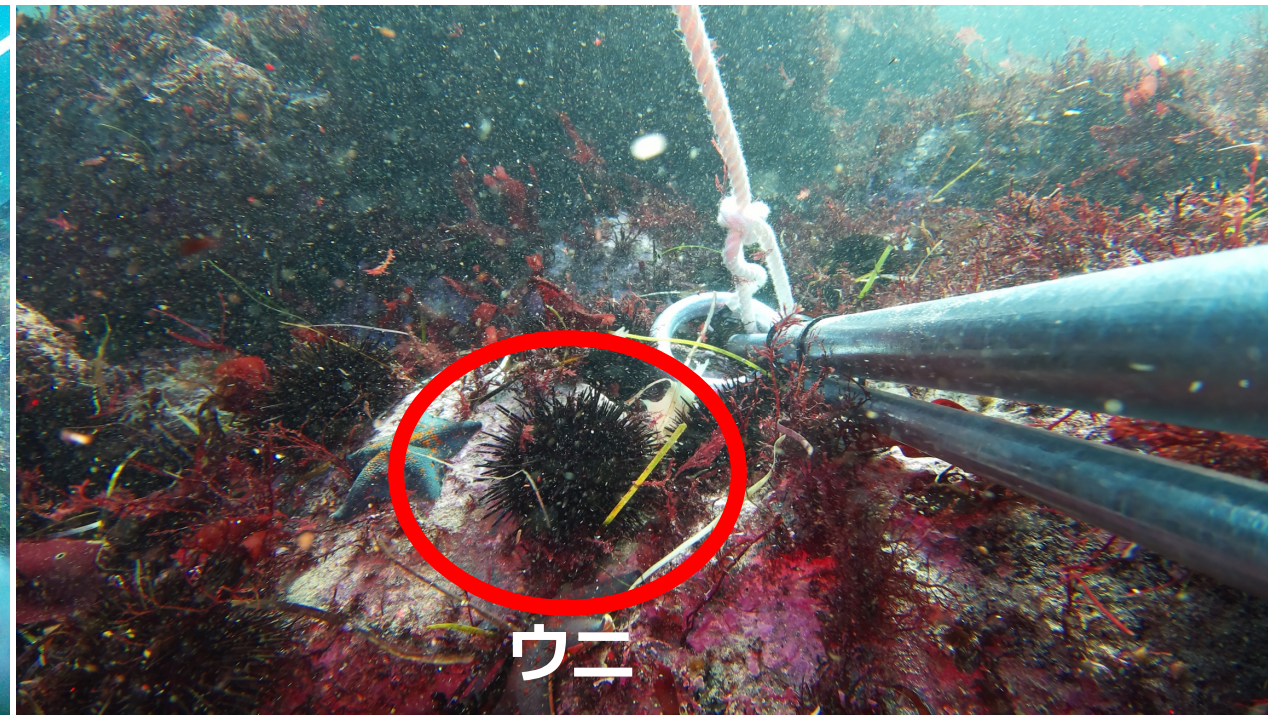
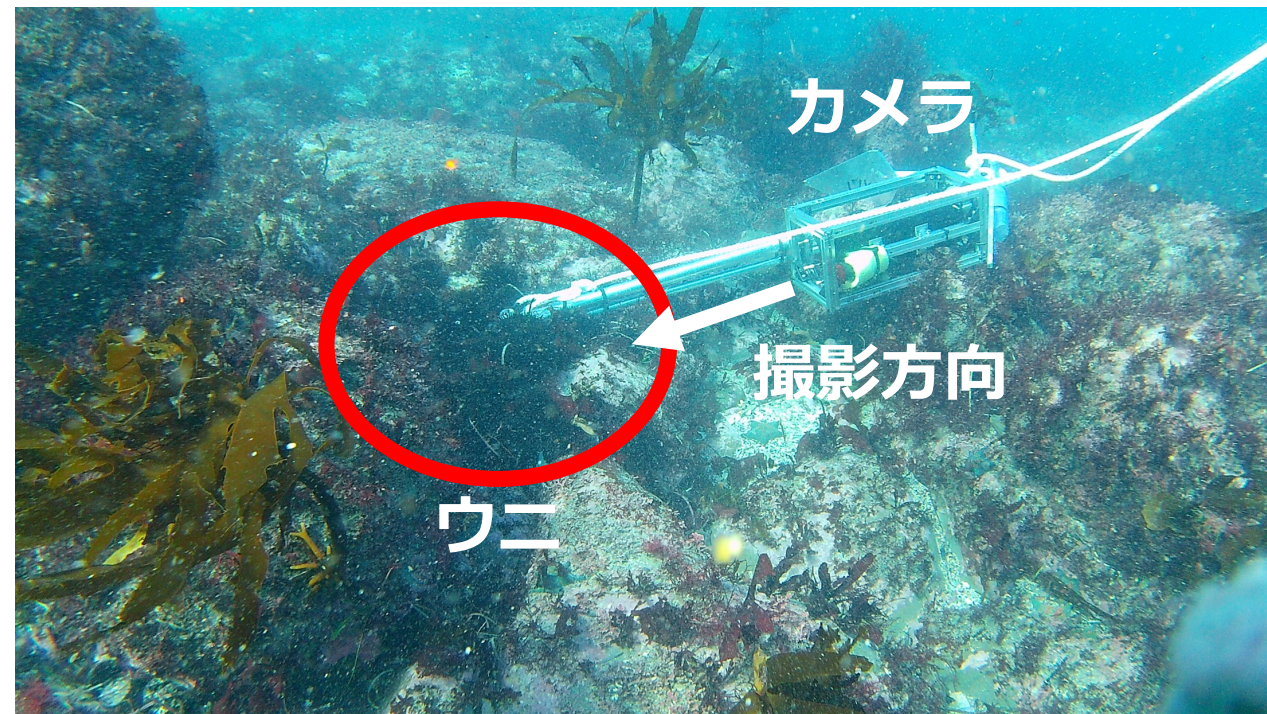


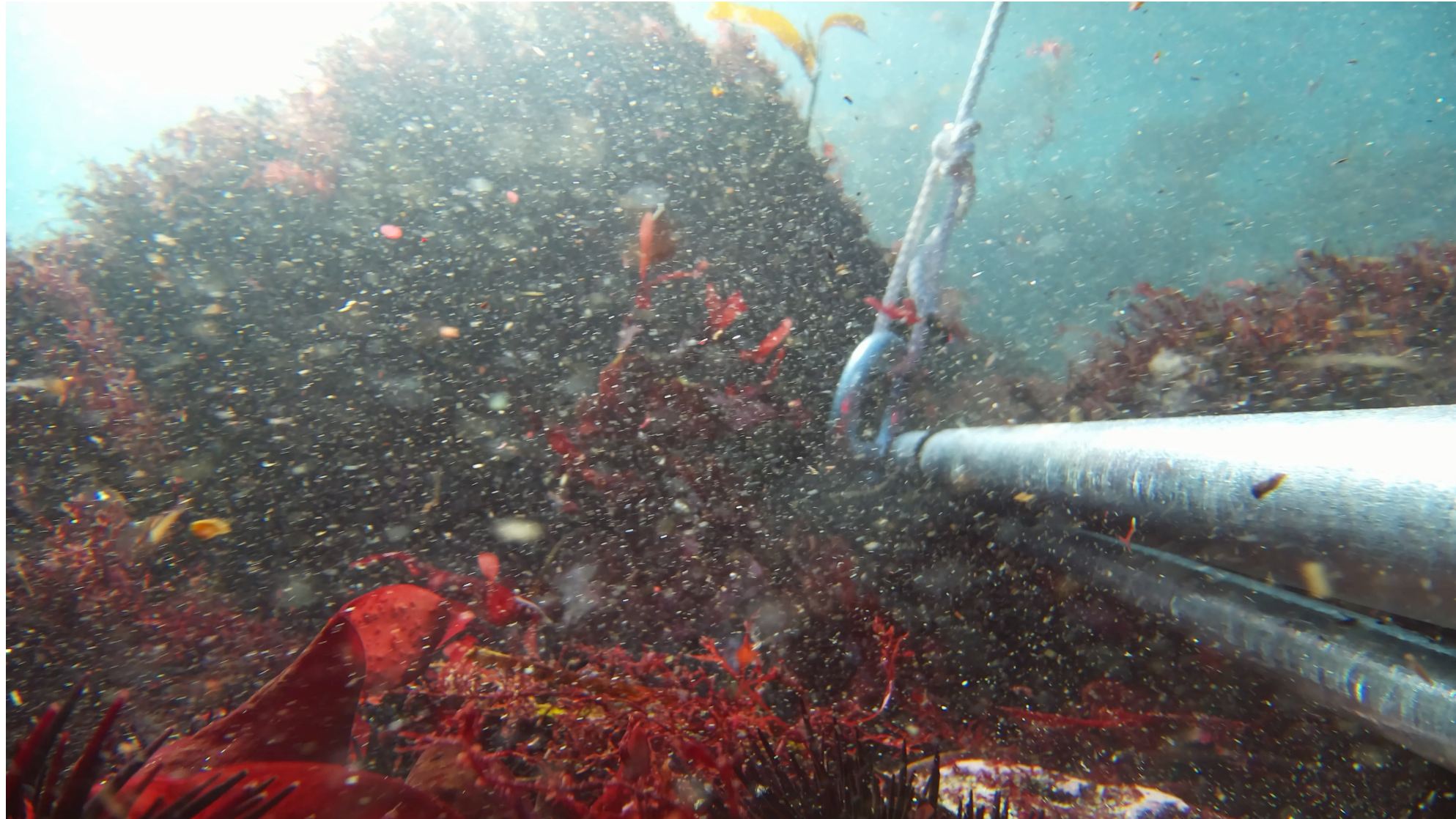
特徴

- 広角レンズ（画角102度）による撮影
- 夜間撮影可能
- 高い耐久性（風浪厳しいいわき沖で使用可能）
- 小型・設置の簡便さ（小型船で設置可能）
- カスタマイズ性の高さ



これまでの海面設置から海底設置に変更 夜間含めてウニの撮影に成功、春頃再度実証予定





<https://youtu.be/9JtIY3Dg6HQ>